



土木第71号

平成19年5月2日

国土交通省道路局長 殿

米沢市長 安部三十郎



「道路整備の中期的な計画」の作成にあたっての意見について（回答）

平成19年4月2日付け、国道企第114号により依頼のありました、このことについて別紙のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地域を活性化するには、生活や観光、産業など様々な分野で交流連携を進める必要があります、そのためには高速道路を始めとする道路ネットワークの整備が是非と考えます。

本市においては、御高配により東北中央自動車道の整備が、現在着々と鋭意進められておりますが、地方を取り巻く環境は依然厳しく、均衡ある国土の発展や都市圏と地方の格差を是正し地方が活性化するには、ネットワークがつながっていない高速道路の整備や都市間を連絡する高規格道路の整備推進が優先度の高い政策と考えます。

また、近年規模の大きい自然災害が発生し、災害は住民にとっても常に身近な問題であり、行政にとっても万全な危機管理体制が問われております。

そのようなことから、緊急輸送道路の確立や互いに補完し合う道路ネットワーク整備及び橋梁補強等、災害や重大事故へ備える道路政策も優先度が高いと考えます。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

効率化を進めるには、工法工夫や新技術の活用等に引続き力を入れ、道路建設や管理にかかるコストを削減していくことを重要視すべきであると考えます。

また、入札契約の透明性や適正化を確保するのはもとより、具体的な整備計画を示し優先順位を明確にして重点投資を行えば、効果の早期発現が期待できるので、積極的な推進が必要と考えます。

ただし、優先順位については、単に効率だけを求めるのではなく、均衡ある国土の発展を念頭に、都市圏に偏らず地方の声を反映することも肝要と考えます。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

地方にとっては道路が暮らしのベースとなっており、高速道路から生活密着の市町村道までネットワークが網羅され、医療や物流、観光等の交通サービスの確保や安心安全な道路環境の整備を、住民より常に求められております。

一方で市町村道は、管理延長が長く、未改良区間や隘路で日常生活や救急活動にも支障を及ぼすような道路が数多い状況となっておりますが、限られた予算や組織の執行体制が整わない状況下で、なかなか整備が進まないのが現状です。

また、橋梁を始め高齢化する道路施設への対策が、本市にとっても今後大きな課題となるのが必然であり、大きな懸念を抱いているところです。

管理マネジメントシステムを構築し、更新計画を立案することの必要性は十分認識しているところですが、市町村にとっては行財政改革を邁進せざるを得ない状況下であり、今後益々続くであろう、厳しい財政事情や技術者不足が大きな問題となっております。

さらには、本市のような豪雪地帯では、道路除雪を充実し円滑な冬期交通を確保することが宿命となっておりますが、増大する維持管理費の状況下、今後とも生活道路の住民サービスを維持していけるかが、ともに大きな不安材料となっております。

そのようなことから、地方において安全で安心な生活を確保するためには、整備・管理両面とも、国による市町村支援を図る戦略的な手法の検討が、是非必要と考えます。